

令和2年2月28日

令和元年度第10回生涯学習センター理事会議事録

日 時：令和2年2月19日（水）18時30分～20時00分
会 場：生涯学習センター事務所（府士会事務所 常盤セントラルビル301号）
出席者：千葉理事長、中川副理事長、井阪局長、芳本局長、射場局長
欠席者：金尾監事
陪席者：村西理事（大阪府理学療法士会副会長）
書 記：木村

【議題】

1. 承認事項

1) 前回の議事録について

令和元年度第9回理事会議事録について、資料参照の上、承認された。

2. 報告事項

1) 各局事業進捗（1月分）

事務局（井阪局長）より、各部について大きな動きはなし。全体としては研修会・講習会などの受講費の入金を確実にするため、HP上でのカード決済の導入を予定している。現在、業者の選定段階であり決定後は試験的な運用から開始、将来的には各市町村士会も利用できるシステムへと検討していく。

教育局（芳本局長）各部より、学術編集部では、雑誌名募集について4名からの応募があり、今後はその意見を参考に編集部会議で決定する予定。次月は創刊までのスケジュールの確認と規程集作成等を予定している。臨床実習教育部では、11月22日『学校養成施設指定規則改正に伴う実習前後における学内教育の情報交換会』を開催、大阪府下16校、30名の参加があった。研修理学療法教育部では医療保険部研修会（3月1日）・責任者会議（3月19日）所属先責任者向けに、新プロ履修促進の啓蒙活動を実施。今後は、新プロ未修了者へFacebook、士会ニュース、センターHPを活用して、履修を促進する予定。さらに2020年度、新プロ研修の受講費振込は研修会開催日から2週間以内に変更予定。学術部では、第2回研修会開催に向けての準備進めているとのこと。

学習局（射場局長）より、生涯学習局としての事業はすべて執行済み。研修部では年度内事業の登録確認作業と今後の研修会準備等事務作業を実施。受託研修部では理事会審議で承認された後、新規部員について手続きを進めていく。

2) PT協会新生涯学習制度説明会

千葉理事長より資料の通り報告があった。

3. 審議事項

1) 【継続審議】門田守人先生を講師に招いての研修会開催について

射場局長より資料の通り説明があった。本研修会は全国の学生指導に関わる教員、および臨床実習指導者に参加を促すため、門田氏と面識のある（一社）日本リハビリテーション臨床教育研究会へ協力を依頼し合同開催とすることについて、ML審議にて承認を受け、本理事会にて追認された。

2) カード決済代行業者の選定について

井阪局長より資料の通り説明があった。センター及び市区町村士会主催の研修会、講習会などの事前受講申し込み、会費入金について、HP 上で手続きが行えるカード決済導入を検討している。決済代行業者数社を選定し比較したところ導入前テスト、運用後サポートなどサポートの手厚いという点から、GM ペイメントゲートウェイ(プラン A)の採用について審議され、結果、承認された。

3) 第3回合同会議での検討課題について

千葉理事長より、第3回合同会議で提示する議案として、1、新生涯学習制度説明会のための研修会企画、2、市区町村士会運営マニュアル作成、3、2020年度新プロ研修事業、生涯学習ポイント研修事業、4、2021年度後期研修 領域別研修(事例)項目に関わる事務作業のお願い(次年度事業)以下4題について審議され、結果、承認された。

4) 受託研修部新規部員について

射場局長より、第8回理事会において承認された部員の増員に関する議案に係り、今回3名の追加について審議され、結果、承認された。

4. 懇談会

1) 謝金規程に対する府士会からの要望について

千葉理事長より説明があった。要望の内容は、①60分の場合の謝金扱いを明示化、②大阪府学術大会の謝金(60分以内)の回答、③2020年度は登録理学療法士、前期研修修了者が存在しないため、追記すべきではないか。また、精通しない市区町村士会にも分かり易い内容で提示するなど。以上について討議された。①②については、府士会との第3回合同会議にて意見交換を行う予定である。

5. その他

なし